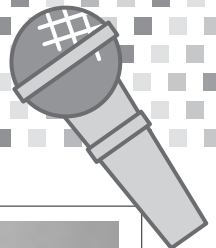


新規採用教員へのインタビュー



藤村 大知 ふじむら まさと
新見市立神郷北小学校教諭
(令和元年度採用)

自己紹介

昨年4月に小学校教諭として採用され、2年生2名の担任をしています。現任校は小規模校ということもあり、学校としての一体感を感じています。大学時代から約5年間、東京で声優として活動しました。その経験が今とても役立っていると感じています。旅行が大好きで、30カ国くらいは旅をしましたが、まだまだ行ってみたい国がたくさんあります。

Q 教員を志した理由は何ですか？

祖父が元は中学校の教員で、教員は身近な、また憧れを感じる仕事でした。私自身、学校生活が楽しく充実していたこともあり、大学の教育学部に進学しました。

Q 大学時代から声優として活躍されたんですね？

実は教員と同じくらいなりたかったのが声優でした。きっかけは、高校時代に短期留学で行ったイギリスで、世界中の国々から来た留学生と出会ったことでした。彼らと話す中で、日本のアニメや映画が、私が想像していた以上に日本文化として海外で認められていることを知り、声優になりたいと強く思いました。声優として仕事を得られる可能

Q 声優か、教員か、難しい決断だったのではありませんか？

決断する上で、大学4年生のときに母校の小学校でした教育実習の経験がとても大きかったと思います。たった1ヶ月間の実習でしたが、自分の描いていた授業や活動を思い通りに実践することができ、とても大きな達成感とやりがいを感じました。実習後に、「今は声優をしよう。でも、いつか絶対教員になるう」と決心しました。

Q 実際教員になってみて、どうでしたか？

最初は授業を始めあらゆる教育活動が全くうまくいかず、自信を失いました。いい授業をデザインし、実践しているはずな

のに、全く児童に伝わらないんです。教育実習で成功体験を積んでいただけに、大きなショックを受けました。

しかしすぐに、私が実践していたのは「自分にとっての」いい授業で、「児童にとつての」いい授業になっていなかったことに気付いたんです。そして、教育実習での成功は、全く自分の力によるものではなかったということにも……。それ以来、しっかり児童の様子を見て、その実態を十分に踏まえて授業をデザインするよう心がけるようになりました。私自身、児童に気付かされ、成長させてもらったことに心から感謝しています。

Q 日々の業務の中で、どんなことに気をつけていますか？

一日のゴールを決めて仕事をすることを心がけています。業務の優先順位を付けて、順序立ててプランを考え、やるべきことに絞って集中的に取り組み、終了時間を守るようにしています。今は新採用で業務量としては最も少ないはずなので、もし今の業務をきちんとこなせなければ、今後自分の成長はないと思っているからです。

Q 教員としてどのような姿を目指していますか？

向上心を持ち、絶えず自分自身を高める努力を続けたいと思っています。

声優時代は、自分の努力や実力が足りなければ容赦なく仕事がなくなり、常に「生活できなくなるのでは」という不安と戦いながら活動していました。今は失敗や自分に至らない点があっても、叱られたり、仕事がなくなったりすることもありません。このような状況の中で自分を奮い立たせ、成長への高いモチベーションを維持していくことはとても難しいと感じています。大切な児童の将来にかかわる仕事をしていることを自覚し、自分自身に常にプレッシャーをかけながら、学び続ける教員であり続けたいと思っています。

Q 休日は、どんなことをして過ごしていますか？

テレビを見るなどして、のんびり過ごしています。児童にあるテレビ番組を「見て」と言われて、それを見始めたことをきっかけに児童との話題が豊富になり距離が縮まったのは良かったんですが、児童以上に自分のはまってしまいました(笑)。